

事業別概況

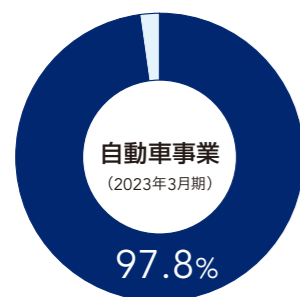
自動車事業



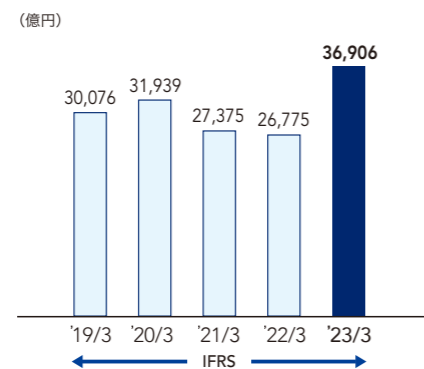
SUBARUは1958年に「スバル360」を発売して自動車メーカーとしてのスタートを切って以降、水平対向エンジンやシンメトリカルAWDなどのコア技術を起点に、新しいカテゴリーの開拓や世界初\*の運転支援システム「アイサイト」に代表される技術価値の創造を通して、常にクルマの新しい価値を提供し、お客様との関係を深めてきました。近年では、米国を重点市場と位置づけ、SUVとスポーツモデルを中心とした商品ラインアップとするなど、限られた経営資源を強みと特長を伸ばすべき分野に集中させる戦略をとり、付加価値の高い商品を通して「安心と楽しさ」を提供しています。また、カーボンニュートラルの実現に向けては、BEVやハイブリッド車などの基幹技術開発をアライアンスも活用しながら取り組みを加速させています。

※ステレオカメラのみで各種機能を実現した運転支援システムとして（SUBARU調べ）

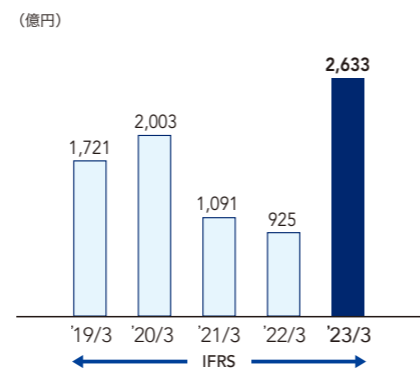
売上収益全体に占める割合



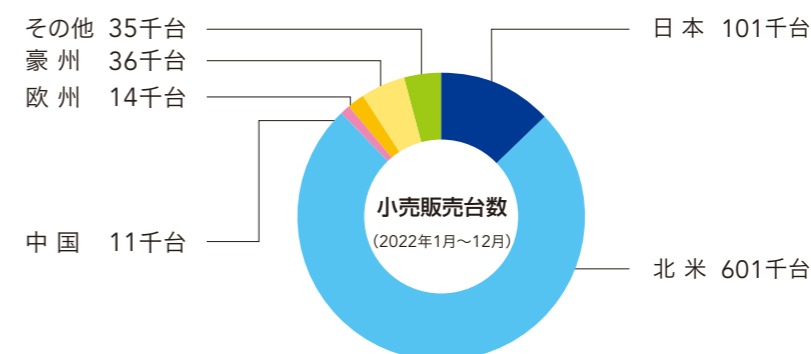
売上収益の推移



営業利益の推移



地域別販売台数



商品ラインアップ

SOLTERRA

SUV(BEV)  
販売台数：2千台  
販売地域：日本、北米、欧州、その他



LEVORG

スポーツ/ワゴン  
販売台数：14千台  
販売地域：日本、その他



ASCENT  
(その他市場名称：EVOLTIS)

SUV  
販売台数：68千台  
販売地域：北米、その他



WRX

スポーツ/セダン  
販売台数：27千台  
販売地域：日本、北米、豪州、その他



OUTBACK

SUV  
販売台数：189千台  
販売地域：日本、北米、欧州、豪州、中国、その他



SUBARU BRZ

スポーツ/クーペ  
販売台数：13千台  
販売地域：日本、北米、欧州、豪州、中国、その他



FORESTER

SUV  
販売台数：186千台  
販売地域：日本、北米、欧州、豪州、中国、その他



LEGACY

セダン  
販売台数：23千台  
販売地域：北米、中国、その他



CROSSTREK

SUV  
販売台数：213千台  
販売地域：日本、北米、欧州、豪州、中国、その他



IMPREZA

ワゴン  
販売台数：46千台  
販売地域：日本、北米、欧州、豪州、その他



OEM

JUSTY



STELLA



SAMBAR VAN



CHIFFON



PLEO+



SAMBAR TRUCK



REX



販売台数：21千台  
販売地域：日本(ダイハツ工業株式会社からのOEM供給です)

\* 販売台数は小売販売における実績を対象期間は2022年1月1日~12月31日  
販売地域は対象期間における実績

## SUBARUの独自技術

### 運転支援システム「アイサイト」

#### ステレオカメラで高い認識力を発揮

アイサイトは人の「目」と同様に2つのカメラ（ステレオカメラ）で、前方のクルマや歩行者などを認識し、それら対象物との距離を正確に捉えることで事故回避・被害軽減や運転負荷軽減につなげています。2020年発売の「レヴォーグ」に初搭載した「新世代アイサイト」では、ステレオカメラの刷新による視野角拡大とともに、前後4つのレーダーとの組み合わせにより、360度センシングを可能とし、これまで以上に幅広いシーンで安全運転をサポートします。高度運転支援システム「アイサイトX」は、3D高精度地図データをはじめ、GPSや準天頂衛星システム「みちびき」を活用した位置情報を組み合わせることで、車線変更支援、渋滞時ハンズオフなどの機能を実現しました。2023年発売の「クロストレック」では、ステレオカメラに加え、超広角の単眼カメラを搭載し、“3つの目”に進化した最新のシステムで、事故が起こりやすい交差点での認識性能を高めています。



ステレオカメラ

### スバルグローバルプラットフォーム

#### 走りの質感や衝突安全性能を高い次元で実現

2016年に「インプレッサ」より導入している「スバルグローバルプラットフォーム」は、車体・シャシー剛性の大幅向上やさらなる低重心化により「走行安全」を高めるとともに、ドライバーの意思に忠実なハンドリングや快適な乗り心地を実現しています。さらに、2020年以降はフルモデルチェンジした「レヴォーグ」より順次、ボディ全体の骨格連続性を高める新たな技術「フルインナーフレーム構造」を採用し、衝突安全性能のさらなる向上やより上質な乗り心地を実現しています。



スバルグローバルプラットフォーム

### シンメトリカルAWD (All Wheel Drive)

#### 前後左右の優れた重量バランス

水平対向エンジンのもたらす低重心とトランスミッションを車体中心近くに集めることで実現する前後左右の優れた重量バランスが、AWDの能力を最大限に引き出し、様々な状況で卓越した走行性能を発揮します。日常走行から高速走行まで、ドライバーの信頼に足るメカニズムの「核」として、SUBARUはシンメトリカルAWDにこだわり続けます。

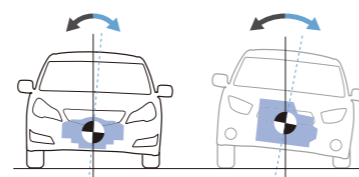


シンメトリカルAWD

### 水平対向エンジン (ボクサーエンジン)

#### コンパクト・低重心

ピストンが左右に向き合う形で配置された水平対向エンジンは、向かい合ったピストンが互いの振動を打ち消し合うため、車内に伝わる振動を少なくすることができます。また、エンジン全高が低くコンパクトな形状がクルマを低重心化。安定した走行姿勢が安心感の高いドライビングを提供します。



SUBARU BOXER 一般的な直列エンジン

## 歴代車種の変遷

\* SUBARU生産車種



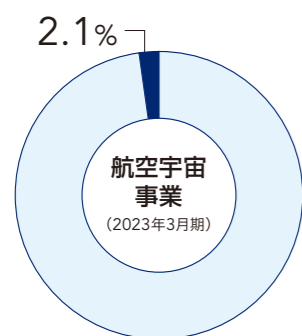
事業別概況

航空宇宙事業

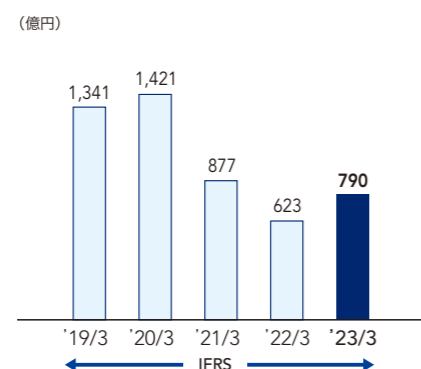


SUBARUの前身は、1917年に創設された「飛行機研究所」をルーツとする「中島飛行機」。航空宇宙事業は、「中島飛行機」から続くモノづくりへの情熱を受け継ぎ、防衛事業、民間事業、ヘリコプター事業という3つの柱にて、多様な航空機を開発・生産し、日本の航空宇宙産業をリードしています。防衛事業では、各自衛隊向けの練習機等に加え、オールジャパン体制での航空機システムの開発生産分担に係わるなど幅広く事業を展開しています。民間事業では、米国ボーイング社との国際共同開発にて、「ボーイング787」などの大型航空機中央翼や様々な部位の開発・製造を担当しています。ヘリコプター事業では陸上自衛隊多用途ヘリコプター「UH-2」および民間向けバージョンの「SUBARU BELL 412EPX」の生産・納入を進めています。

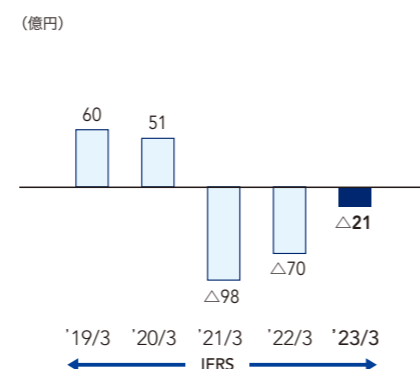
売上収益全体に占める割合



売上収益の推移



営業利益の推移



- 主な製品
- ・SUBARU BELL 412EPX
  - ・多用途ヘリコプター「UH-2」
  - ・戦闘ヘリコプター「AH-64D」
  - ・初等練習機「T-5」「T-7」
  - ・無人偵察機システム
  - ・ボーイング787中央翼
  - ・ボーイング777・777X中央翼

民間事業

1973年に米国ボーイング社の旅客機生産に参画して以来、50年にわたり主要パートナーの一つとして開発・生産に関わってきました。SUBARUが担当する「中央翼」は、航空機の左右の主翼と前後の胴体をつなぎ、荷重を支える主要な部位で、中身は燃料タンクの役割も果たすため、高強度・高液密が求められることから、当社の持つ高い設計技術と組み立て技術を発揮してボーイング社のご期待に応えてきました。

なお、愛知県にある半田工場は、すでに1,000機を超える製造を誇る「ボーイング787」のほか、「ボーイング777X」、「ボーイング777」、防衛省の哨戒機「P-1」および輸送機「C-2」向けの中央翼の生産を行う、世界的にも類まれな大型航空機の中央翼生産センターです。2023年5月には半田工場での大型航空機中央翼の製造、出荷が累計で3,000機を達成しました。



中央翼 (半田工場)

防衛事業

SUBARUは、航空自衛隊、海上自衛隊向け初等練習機システム、陸上自衛隊向け多用途ヘリコプター、戦闘ヘリコプターなどの事業において機体の製造、定期整備、補給、訓練など全般にわたる運用サポートをSUBARUグループ全体として半世紀にわたり実施し、2023年5月には、関係会社の富士航空整備株式会社において、「T-5」の定期検査が累計で2,500機の節目を迎えました。また無人機システム分野においては、多くの開発実績を誇り、現有システムの運用支援と将来システム研究開発に積極的に取り組んでいます。

さらにSUBARUは、戦闘機・輸送機・哨戒機など我が国における主要防衛航空機システムの開発事業に参画し主翼・尾翼・複合材等の得意分野を中心に主要部位の開発・生産を担当しています。

防衛3文書が定められ、我が国の防衛能力の増強に向けて防衛事業は大きな事業環境の変化を迎えています。そのなかでSUBARUは長年の経験と実績に裏付けされた確かな技術力でお客様のニーズに的確に応え、我が国の防衛に貢献していきます。



T-5 海上自衛隊練習機

ヘリコプター事業

SUBARUは陸上自衛隊多用途ヘリコプター「UH-2」の量産ラインを宇都宮製作所に設置し、生産を進めています「UH-2」は航空輸送や災害時における人命救助、住民避難、また消火活動など国民の安全・安心を守る任務に使用されます。

また、民間向けバージョンの「SUBARU BELL 412EPX」においても受注・販売を順調に伸ばし、過酷な条件下でも運航できる高い信頼性や、優れた整備性を誇り、日本だけでなく世界各国での活躍が期待されます。

SUBARUは、今後も、機体の製造・販売のみならず、部品供給や定期整備等を通じ、国内に製造／整備基盤を抱える会社として、お客様の安全・安心な運航をサポートしていきます。



UH-2 陸上自衛隊多用途ヘリコプター

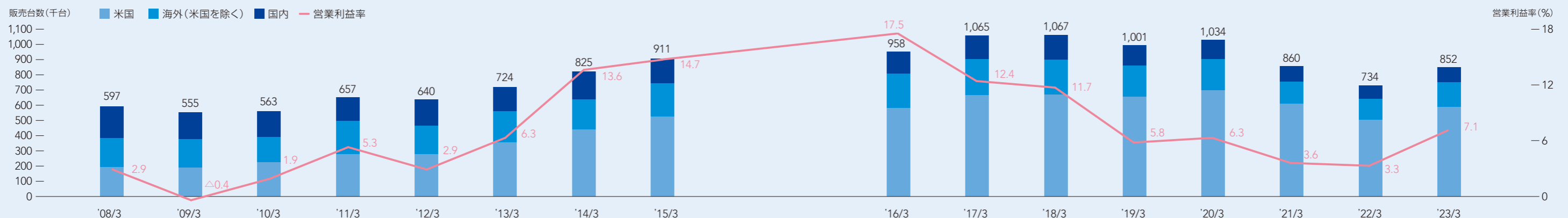
## これまでの中期経営ビジョン

従来、中期的な経営の考え方などは「中期経営ビジョン」という名目で3~5年間の経営計画として策定し、発信してきました。一方、当社を取り巻く環境は非連続かつ従来にないスピード感で変化しています。この急速な変化に対しては、よりタイムリーに対応していくことが求められると考えており、経営の考え方の策定・発信についても従来の進め方にとらわれることなく、適宜進捗を報告していくことに変更しました。

これまでの中期経営ビジョンの変遷は以下の通りです。

2007-2010 すべてはお客様のために <small>発表時：代表取締役社長 森 郁夫</small>	2011-2013 Motion-V <small>発表時：代表取締役社長 吉永 泰之</small>	2014-2017 際立とう2020 <small>発表時：代表取締役社長CEO 吉永 泰之</small>	2018-2023 STEP <small>代表取締役社長CEO 中村 知美</small>
<p><b>戦略骨子</b></p> <p>お客様第一を基軸とした収益の早期回復と成長分野への経営資源の投入</p> <p><b>重点取り組み</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スバルらしさの追求</li> <li>2 グローバル視点の販売（最重点市場：米国）</li> <li>3 品質・コスト競争力の強化</li> <li>4 トヨタ提携効果の拡大</li> <li>5 人材育成と組織力の強化</li> </ol> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ全体での“お客様第一”の共有</li> <li>● お客様視点の商品づくり</li> <li>● 世界トップレベルの安全性能</li> <li>● 最重点市場の米国での拡販</li> <li>● 諸費用を徹底的に抑制した収益構造改革</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 為替感応度の引き下げ</li> <li>● 中国を含む新興国市場での拡販</li> <li>● 環境技術の商品・対応</li> <li>● 3カンパニー*の自立</li> <li>● 経営環境の変化への対応力</li> </ul> <p><small>* 航空宇宙カンパニー、産業機器カンパニー、エコテクノロジーカンパニー</small></p>	<p><b>経営理念</b></p> <p>“お客様第一”を基軸に「存在感と魅力ある企業」を目指す</p> <p><b>5つのテーマ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 すべての活動を貫く行動指針“Confidence in Motion”  <small>&lt;新ブランド戦略&gt;</small>                      SUBARUがお客様に提供する価値「安心と楽しさ」</li> <li>2 お客様視点を徹底した、“新たなスバルらしさの追求”</li> <li>3 販売力と供給力を強化して“加速する規模の拡大”</li> <li>4 原価構造改革、提携効果拡大など“事業基盤を強化”</li> <li>5 事業の具体的な取り組みを支える“経営の質の向上”</li> </ol> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● XUV/SUV戦略の成功</li> <li>● 米国軸足の商品開発による販売伸張</li> <li>● 衝突安全やアイサイトでの高評価</li> <li>● コスト低減活動の結実</li> <li>● 低インセンティブ販売の実現</li> <li>● 高効率生産の実現</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来の環境規制対応</li> <li>● 生産能力の逼迫</li> <li>● 新しいお客様への対応</li> <li>● 高い為替感応度</li> </ul> <p><small>* [2011-2015 Motion-V] を前倒しで達成したため、2013年度に終了し、2014年度から新たなステージに向けて「際立とう2020」がスタートしました。</small></p>	<p><b>経営理念</b></p> <p>“お客様第一”を基軸に「存在感と魅力ある企業」を目指す</p> <p><b>策定の理由</b></p> <p>新たなステージでの競争力強化と事業基盤整備を進め、持続的成長、発展を目指す</p> <p><b>2020年ありたい姿</b></p> <p>企業像 大きくはないが強い特徴を持ち質の高い企業</p> <p>具体像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● お客様からの信頼No.1</li> <li>● 高いブランド力</li> <li>● 業界高位の利益率</li> <li>● 販売台数110万台+α</li> </ul> <p><b>中期経営ビジョンの方向性</b></p> <p>付加価値経営をさらに進める → スバルブランドを磨く                      環境変化への耐性を高める → 強い事業構造をつくる</p> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 業界高位の利益率</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高いブランド力</li> <li>● 販売台数120万台+α</li> <li>● お客様からの信頼No.1</li> </ul>	<p><b>経営理念</b></p> <p>“お客様第一”を基軸に「存在感と魅力ある企業」を目指す</p> <p><b>提供価値</b></p> <p>安心と楽しさ</p> <p><b>ありたい姿</b></p> <p>笑顔をつくる会社</p> <p><b>2025年ビジョン</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 個性を磨き上げ、お客様にとってDifferentな存在になる</li> <li>2 お客様一人一人が主役の、心に響く事業活動を展開する</li> <li>3 多様化する社会ニーズに貢献し、企業としての社会的責任を果たす</li> </ol> <p><b>重点取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織風土改革</li> <li>● 品質改革</li> <li>● SUBARUらしさの進化</li> </ul> <p><small>*2021年5月に「STEP」の進捗報告を行い、一部内容を更新。</small></p>

連結販売台数と営業利益率の推移



## 10年間の主要連結財務データ

株式会社SUBARUおよび連結子会社  
3月31日に終了した各会計年度

日本基準								国際財務報告基準(IFRS)						
		'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3		'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3	
<b>損益状況(会計年度)</b>								<b>損益状況(会計年度)</b>						
売上高 <sup>*1</sup>	百万円	2,408,129	2,877,913	3,232,258	3,325,992	3,232,695	3,160,514	売上収益	百万円	3,156,150	3,344,109	2,830,210	2,744,520	3,774,468
売上原価	百万円	1,728,271	2,017,490	2,187,136	2,386,266	2,442,706	2,561,753	売上原価	百万円	2,558,262	2,728,605	2,337,614	2,240,595	3,037,993
売上総利益	百万円	679,858	860,423	1,045,122	939,726	789,989	598,761	売上総利益	百万円	597,888	615,504	492,596	503,925	736,475
販売費及び一般管理費 <sup>*1</sup>	百万円	353,369	437,378	479,533	528,916	410,542	403,232	販売費及び一般管理費	百万円	298,875	308,227	279,867	303,136	342,015
営業利益	百万円	326,489	423,045	565,589	410,810	379,447	195,529	営業利益	百万円	181,724	210,319	102,468	90,452	267,483
税金等調整前当期純利益	百万円	328,865	392,206	619,003	394,695	297,340	195,838	税引前利益	百万円	186,026	207,656	113,954	106,972	278,366
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	206,616	261,873	436,654	282,354	220,354	147,812	親会社の所有者に帰属する当期利益	百万円	141,418	152,587	76,510	70,007	200,431
減価償却費 <sup>*2 *3</sup>	百万円	61,486	71,821	72,938	85,653	102,102	102,749	減価償却費 <sup>*3</sup>	百万円	187,077	192,742	206,317	224,055	239,806
資本的支出 <sup>*3</sup>	百万円	98,537	135,346	168,338	196,616	193,789	169,960	資本的支出 <sup>*3</sup>	百万円	274,281	284,669	258,229	244,436	257,950
研究開発費	百万円	60,092	83,535	102,373	114,215	121,084	102,719	研究開発支出	百万円	102,719	118,735	101,626	113,752	107,780
<b>財政状態(会計年度末)</b>								<b>財政状態(会計年度末)</b>						
純資産	百万円	770,071	1,030,719	1,349,411	1,464,888	1,561,023	1,612,825	資本合計	百万円	1,689,899	1,720,123	1,786,383	1,901,019	2,109,947
自己資本	百万円	765,544	1,022,417	1,343,732	1,458,664	1,552,844	1,605,291	親会社の所有者に帰属する持分	百万円	1,682,248	1,712,881	1,777,735	1,890,789	2,100,973
総資産 <sup>*4</sup>	百万円	1,888,363	2,199,714	2,592,410	2,762,321	2,866,474	2,982,725	資産合計	百万円	3,180,597	3,293,908	3,411,712	3,543,753	3,944,150
自己資本比率 <sup>*4</sup>	%	40.5	46.5	51.8	52.8	54.2	53.8	親会社所有者帰属持分比率	%	52.9	52.0	52.1	53.4	53.3
<b>キャッシュ・フロー</b>								<b>キャッシュ・フロー</b>						
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	313,024	311,543	614,256	345,442	366,298	174,006	営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	250,732	210,134	289,376	195,651	503,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	(33,903)	(172,780)	(255,676)	(254,252)	(150,711)	(158,327)	投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	(190,119)	(25,844)	(272,174)	(179,723)	(336,813)
フリーキャッシュ・フロー	百万円	279,121	138,763	358,580	91,190	215,587	15,679	フリーキャッシュ・フロー	百万円	60,613	184,290	17,202	15,928	166,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	(63,011)	(110,546)	(126,190)	(189,044)	(170,937)	(96,617)	財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	(141,551)	(15,818)	13,966	(98,502)	(122,307)
<b>1株当たり情報</b>								<b>1株当たり情報</b>						
当期純利益(EPS)	円	264.76	335.57	559.54	365.77	287.40	192.78	当期利益(EPS)	円	184.44	198.99	99.77	91.28	261.33
純資産(BPS)	円	980.98	1,310.15	1,721.90	1,902.56	2,025.31	2,093.60	親会社所有者帰属持分(BPS)	円	2,193.97	2,233.76	2,318.17	2,465.41	2,739.27
配当金	円	53	68	144	144	144	144	配当金	円	144	100	56	56	76
<b>その他情報</b>								<b>その他情報</b>						
単独為替レート	円/米ドル	100	108	121	108	111	111	単独為替レート	円/米ドル	111	109	106	112	135
発行済株式総数	千株	782,865	782,865	782,865	769,175	769,175	769,175	発行済株式総数	千株	769,175	769,175	769,175	769,175	769,175
株主数 <sup>*5</sup>	人	51,386	70,942	79,594	76,471	132,570	133,879	株主数 <sup>*5</sup>	人	133,879	145,289	142,890	147,507	139,908
単独従業員数	人	13,034	13,883	14,234	14,708	14,879	15,274	単独従業員数	人	15,274	15,806	16,478	16,961	17,228
連結従業員数	人	28,545	29,774	31,151	32,599	33,544	34,200	連結従業員数	人	34,200	35,034	36,070	36,910	37,521
<b>台数情報</b>								<b>台数情報</b>						
連結完成車販売台数 <sup>*6</sup>	千台	825	911	958	1,065	1,067	1,000	連結完成車販売台数 <sup>*6</sup>	千台	1,001	1,034	860	734	852
自動車生産台数	千台	813	914	951	1,056	1,050	989	自動車生産台数	千台	989	1,031	810	727	874
国内	千台	650	708	715	721	701	617	国内	千台	617	664	525	455	575
海外 <sup>*7</sup>	千台	164	207	236	335	349	372	海外 <sup>*7</sup>	千台	372	367	285	272	299

\* 当社グループは2020年3月期第1四半期より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用。

※1 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)、2018年3月期より遡及適用。

※2 2019年3月期より会計方針変更(当社および国内連結子会社の一部の有形固定資産の償却方法を定率法から定額法へ変更)。

※3 有形固定資産および無形固定資産の合計額。

※4 2019年3月期より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正」を適用、2018年3月期より遡及適用。

※5 1単元の株式数100株。

※6 当社および連結子会社の完成車販売台数。

※7 米国生産拠点 Subaru of Indiana Automotive, Inc.



## 財務情報に関して

財務情報に関する詳細は当社WEBもあわせてご参照ください。  
<https://www.subaru.co.jp/ir/library/>

## 5年間の販売台数データ

3月31日に終了した各会計年度

### 連結完成車 地域別販売台数

(単位:千台)

	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3
<b>国内</b>					
レガシィ	6.1	4.7	2.6	4.9	7.6
インプレッサ	47.4	42.9	30.7	22.5	25.0
フォレスター	32.1	30.1	22.9	23.4	22.8
レヴォーグ	13.2	11.8	20.1	15.0	15.7
WRX	7.1	8.5	2.8	0.2	3.9
エクシーガ	0.2	—	—	—	—
SUBARU BRZ	1.3	1.2	0.8	5.0	4.1
ソルテラ	—	—	—	—	0.4
OEM	2.7	2.7	1.9	1.7	1.7
その他	0.1	—	—	—	—
登録車計	110.2	101.9	81.9	72.6	81.1
軽自動車	26.0	23.9	19.9	16.8	18.5
国内計	136.2	125.8	101.8	89.4	99.7
<b>米国</b>					
レガシィ	213.9	197.2	186.3	153.1	178.9
インプレッサ	197.0	196.5	173.6	149.7	193.9
フォレスター	155.6	200.5	176.2	121.9	116.1
WRX	26.5	21.0	18.7	20.2	28.3
アセント	63.1	84.6	54.9	58.8	68.0
SUBARU BRZ	3.7	1.8	2.0	2.6	3.4
ソルテラ	—	—	—	—	3.2
米国計	659.7	701.6	611.6	506.3	591.8
<b>カナダ</b>					
レガシィ	13.3	13.0	9.7	11.4	11.6
インプレッサ	22.1	25.7	24.0	24.5	16.5
フォレスター	12.5	14.8	10.4	7.3	8.0
WRX	4.1	2.5	2.6	2.6	2.6
アセント	4.1	4.0	2.7	2.7	3.4
SUBARU BRZ	0.7	0.4	0.3	0.6	0.5
ソルテラ	—	—	—	—	0.6
カナダ計	56.8	60.4	49.7	49.1	43.1
<b>欧州</b>					
レガシィ	6.5	8.8	3.2	6.0	6.0
インプレッサ	14.9	13.2	5.9	5.9	8.8
フォレスター	9.1	12.7	4.3	3.1	5.4
レヴォーグ	0.8	1.9	0.1	0.0	0.0
WRX	0.3	—	0.0	—	—
SUBARU BRZ	0.5	0.4	0.2	0.0	0.3
ソルテラ	—	—	—	—	2.7
欧州計	32.1	37.0	13.7	15.0	23.3
<b>豪州</b>					
レガシィ	10.6	8.0	7.2	9.2	11.5
インプレッサ	16.7	16.1	9.8	12.2	13.7
フォレスター	12.2	16.9	12.3	10.5	13.5
レヴォーグ	0.3	0.3	0.2	0.1	0.9
WRX	1.5	1.3	1.5	0.8	2.7
SUBARU BRZ	0.4	0.5	0.4	0.4	1.5
豪州計	41.7	43.1	31.4	33.2	43.9

\* 「レガシィ」には「アウトバック」の販売台数も含まれています。

\* 「インプレッサ」には「SUBARU XV」「クロストレック」の販売台数も含まれています。

(単位:千台)

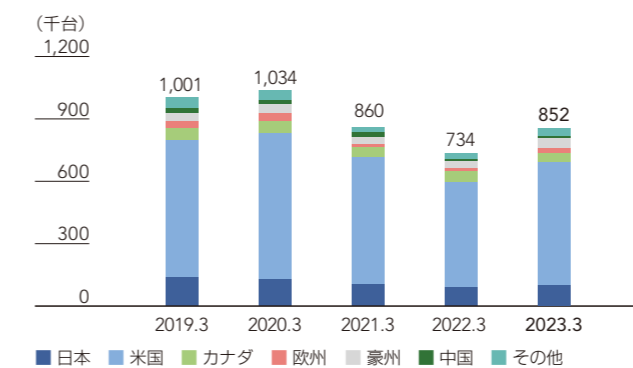
	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3
<b>中国</b>					
レガシィ	3.8	2.7	4.9	3.9	1.1
インプレッサ	3.8	1.6	2.2	1.1	0.4
フォレスター	15.2	15.6	17.4	8.8	4.9
SUBARU BRZ	—	0.8	0.0	0.1	3.8
中国計	22.8	20.6	24.5	13.9	10.1
<b>その他地域</b>					
レガシィ	5.7	3.4	2.2	4.5	4.7
インプレッサ	20.6	16.0	9.9	10.6	14.8
フォレスター	22.2	23.5	14.0	10.9	17.3
レヴォーグ	1.1	0.9	0.2	0.0	0.3
WRX	1.4	1.2	0.4	0.3	1.2
アセント	—	0.0	0.7	0.5	0.9
SUBARU BRZ	0.3	0.3	0.1	0.3	1.3
ソルテラ	—	—	—	—	0.1
その他地域計	51.4	45.3	27.5	27.2	40.5
海外合計	864.6	908.0	758.4	644.6	752.7
グローバル合計	1,000.8	1,033.9	860.2	734.1	852.4

### 連結完成車 車種別販売台数

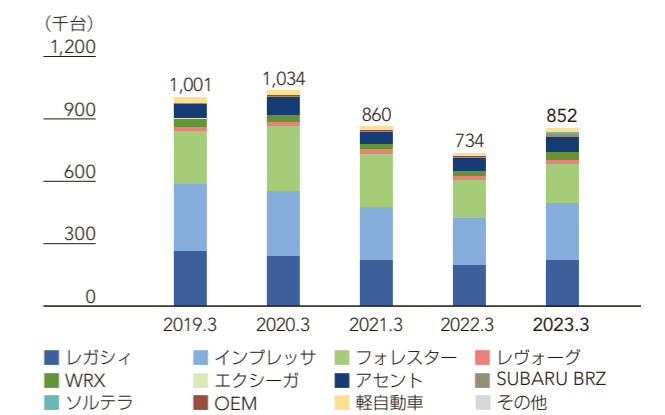
(単位:千台)

	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3
レガシィ	259.9	237.8	216.1	193.0	221.4
インプレッサ	322.5	312.0	256.1	226.5	273.1
フォレスター	258.8	314.1	257.5	185.9	187.9
レヴォーグ	15.4	15.0	20.5	15.2	17.0
WRX	41.0	34.4	26.1	24.1	38.7
エクシーガ	0.2	—	—	—	—
アセント	67.2	88.6	58.3	62.1	72.3
SUBARU BRZ	6.9	5.4	3.9	8.9	14.8
ソルテラ	—	—	—	—	7.0
OEM	2.7	2.7	1.9	1.7	1.7
軽自動車	26.0	23.9	19.9	16.8	18.5
その他	0.1	—	—	—	—
グローバル合計	1,000.8	1,033.9	860.2	734.1	852.4

### 連結完成車 地域別販売台数



### 連結完成車 車種別販売台数



\* 当社および連結子会社の完成車販売台数

\* 当社および連結子会社の完成車販売台数

### その他財務情報に関して

決算短信、決算説明会資料、有価証券報告書については、IRサイトに掲載しています。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

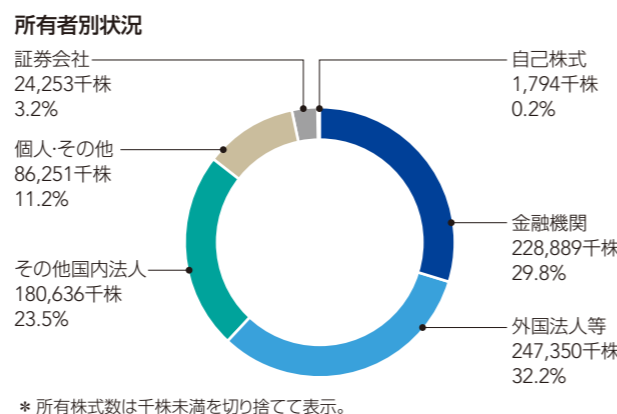
## 会社情報

### 会社概要 (2023年3月31日現在)

<b>会社名</b>	株式会社SUBARU (英文表記: SUBARU CORPORATION)	<b>本社所在地</b>	東京都渋谷区恵比寿1丁目20番8号 エビスバルビル
<b>創立</b>	1953年7月15日	<b>関係会社数</b>	95社 (子会社87社・関連会社7社・その他の関係会社1社)
<b>資本金</b>	153,795百万円	<b>従業員数</b>	17,228人(連結: 37,521人) * 役員、顧問、出向者を除く。
<b>決算期</b>	3月31日	<b>WEB</b>	企業サイト <a href="https://www.subaru.co.jp/">https://www.subaru.co.jp/</a> 投資家情報サイト <a href="https://www.subaru.co.jp/ir/">https://www.subaru.co.jp/ir/</a>
<b>会計監査人</b>	有限責任 あずさ監査法人		
<b>主な事業内容</b>	自動車: 自動車ならびにその部品の製造、販売および修理 航空宇宙: 航空機、宇宙関連機器ならびにその部品の製造、販売および修理		

### 株式情報 (2023年3月31日現在)

<b>発行可能株式総数</b>	1,500,000,000株
<b>発行済株式総数</b>	769,175,873株
<b>総株主数</b>	139,908名
<b>単元株式数</b>	100株
<b>上場証券取引所</b>	東京証券取引所 プライム市場
<b>証券コード</b>	7270
<b>株主名簿管理人 および特別口座 管理機関</b>	〒100-8241 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 TEL: 0120-288-324(フリーダイヤル)



### 大株主の状況

株主名	住所	所有株式数 (千株)	所有株式数比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1番地	153,600	20.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	115,024	14.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番12号	47,682	6.21
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	P.O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A.	11,128	1.45
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1776 HERITAGE DRIVE, NORTH QUINCY, MA 02171, U.S.A.	10,198	1.33
MIZUHO SECURITIES ASIA LIMITED-CLIENT A/C	12TH FLOOR, CHATER HOUSE, 8 CONNAUGHT ROAD, CENTRAL, HONG KONG	10,165	1.32
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5番5号	10,078	1.31
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	ONE LINCOLN STREET, BOSTON MA USA 02111	9,287	1.21
損害保険ジャパン株式会社	東京都新宿区西新宿1丁目26番1号	8,267	1.08
JP MORGAN CHASE BANK 385781	25 BANK STREET, CANARY WHARF, LONDON, E14 5JP, UNITED KINGDOM	8,035	1.05

\* 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示。  
\* 所有株式数比率は発行済株式の総数から自己株式(1,794,065株)を控除して計算。